※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	「書Ⅲ」（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各時代の古筆に関連した書論を手がかりに、伝統文化としての書に対する理解を深めます
・現代社会における書の意義を実感することで、書が今後どのように文化の発展に寄与していけるかを考え、創造的かつ個性豊かな創作を探究しましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化に深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

（１）　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（３）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、創造的な作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを創造的に感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に書の表現および鑑賞の幅広い創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	簡牘の世界に学ぶ	・漢代木簡の鑑賞と臨書 ・居延漢簡・敦煌漢簡を生かし半切に倣書	a:戦国・秦・漢時代における日常の書写の実態を理解している。 b:隷書の波磔の美しさを感じ取り、リズム感・躍動感を大切に、表現を工夫している。 c:肉筆の書、木簡にふれ、先人たちの息づかいや思いを読み取り、新しい発見と感動を得て、主体的に表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント
	古典に学ぶ	「礼器碑」(後漢) 「喪乱帖」(東晋) 「薦季直表」(魏) 「魏霊蔵造像記」(北魏) 「枯樹賦」(唐) 「祭姪文稿」(唐)	a:【知】書の伝統と文化、時代・風土との関りについて理解を深めている。 【技】書の伝統を踏まえ、書体の特色を生かして創造的に表現する技能を身に付け表している。 b:古筆の美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:古筆の多彩な表現に関心を持って、表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント
後期	漢字仮名交じりの書の学習	・語句の選定、用具・用材の選択、用紙の大きさの選定 ・草稿制作、清書、押印 ・作品を裏打ちしパネルに貼って完成させる。 ・相互批評会	a:【知】現代書は、伝統と文化を生かしながら現代のことばを個性的、創造的に表現するものであり、書の表現によって思いが伝わることを理解している。 【技】創造的な書表現にするための意図に応じた効果的な表現の技能を身に付け表している。 b:漢字の各書体や書風に調和する仮名の表現について考え、創造的な表現を工夫している。 c:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、創意工夫し、意欲的に取り組もうとしている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書の学習	「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」 短冊に仕上げる。	a:仮名の書の様式美や装飾美を理解し、創造的な書表現にするための表現の技能を身に付け表している。 b:古筆の美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:古筆の美にふれ、日本人の美意識を理解し自己の表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント
	生活の中の書	葉書を墨流しで染め、仮名の書の作品制作	a: 【知】暮らしの中に書を活かす伝統と文化を理解している。 【技】創造的な書表現にするための紙面構成の美を身に付け表している。 b:生活や社会における書の美の効用を考え、古筆の構成の美しさも感じ取り、表現を構想し工夫している。 c:感性を磨き、創造性豊かな表現を工夫し、主体的に個性的、創造的な表現をする活動に取り組もうとしている。	観察	作品	観察 振り返り プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度